

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立横川小学校
校長名 畝 本 光 子

平成 2 0 年度 教育課程について (届)

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり
お届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

知、徳、体の調和のとれた教育を進め、心身ともに健康な児童を育成する。

一人一人の個性・能力を伸ばし、人間性豊かな児童を育成する。

以上を本校の教育の機軸として、以下を教育目標として定める。

自分から進んで学ぶ子ども (重点目標)

からだをきたえる子ども

思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

1 進んで学ぶ子を育成するため、指導力の向上を目指す。

(1) 児童の相互理解と教師と児童の心の交流を深める学級経営を基盤とし、何事にも進んで取り組み、深く考え正しく判断し行動する力を育成する。

(2) 国語の校内研究や算数の少人数指導などを計画的に進め、学ぶことの楽しさを実感できる授業を実践する。

2 体をきたえ、健康な子どもを育成するため食育を推進する。

(1) 自然に恵まれた学区域や学級園を活用した野菜の栽培活動を通して、食への関心を深めるとともに、自然との関わりに関心をもたせる。

3 思いやりのある子を育成するため、異学年児童や地域の方々との交流を進めるとともに、国際理解教育の推進を図る。

(1) 諸外国の様々な文化や生活様式等について聞いたり、調べたりする活動を通して興味・関心・理解を深める。

(2) 地域の方や異学年児童との交流や触れ合いと道徳の実践的学びや教科指導のなかで、自他の人権を尊重する児童を育てる。

4 特別な配慮を必要とする児童に対して、適切な指導体制と相談活動を充実させるとともに、関係機関との連絡・連携を図る。

(1) 児童理解の研修を深め、特別支援学級「たんぼぼ」との連携を密にして、特別支援教育を推進する。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

ア 各教科

国語科の話すこと・聞くことに焦点をあて、年間を通した講師を招聘し、全教員の授業研究を柱にした校内研究で授業力の向上を図る。

児童の個性と能力そして習熟度に応じ、T・T、少人数指導、習熟度別指導等の工夫を行い、学習への意欲と関心を高める。

種々の調査の分析を踏まえて作成した授業改善推進プランにより、各教科の基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付けさせる。

イ 道徳

地域の方との交流や異学年交流を積極的に進め、人権と生命の尊重、相互理解、思いやりの心等を培い、豊かな人間性をはぐくむ。

心のノート等の活用を位置付けた年間指導計画に基づき、6年間を通した体系的な指導を徹底する。

ウ 特別活動

児童の自発的・自主的な実践活動を通して自立心を育て、自らの努力で学校生活を充実させる自覚と行動力をはぐくむ。

(横川子どもまつり・ひまわりタイム・ふれあいタイム・あいさつ運動)

児童会や児童集会を主体的に運営させ、連帯・協調・協力の態度を培う。

委員会活動やクラブ活動を通して、異学年間の触れ合いを深め、相互に認め合い励まし合う心と態度を育てる。

エ 総合的な学習の時間

野菜や稲などの栽培活動と収穫物の活用等で、食事と心や体の健康との関連に関心をもせるよう、養護教諭や栄養士と連携し、食育教育や環境教育を推進する。

高学年で年間20時間の英語活動や国際交流を進め、異文化への理解を深めるとともに、国際社会の一員としての自覚と資質を育てる。

生活科学習との関連性をもたせると共に、豊かな自然環境や地域の人材を生かした学習を工夫する。

(2) 特色ある教育活動

読書を楽しむ子の育成を目指し、朝読書・読み聞かせ・お話会の実施と、図書ボランティアの活用で図書室の環境整備に努める。

異学年交流とたんぼ学級との交流を密にし、人間性と社会性を培う。

ゲストティーチャーや地域の方の支援を積極的に求め、地域社会での体験や交流を通じた学習を推進する。

近隣の中学校の出張授業を実施するなど連携を図るとともに、幼稚園、保育園、地域のお年寄り等との交流を深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

日常生活における基本的な生活習慣の指導を徹底し、規律ある学校生活を基本に自律心を育む。

不登校やいじめ等の早期発見、早期対応を目指して「子ども相談室」の活用と校内での教育相談機能の充実を図り、家庭との連携を深める。

児童の安全確保のため、自分の安全を守るための知識や行動を学ばせるセーフティ教室や登下校指導の充実を図る。

家庭、地域社会、教育関係諸機関と連携し、豊かな人間性と社会性をはぐくむ。

イ 進路指導

全教育活動を通して、自主的・自発的な活動を経験させ、自分の個性や能力の価値に気付かせ、生きる自信と将来への希望をもたせる。

中学校との交流を深め、児童が進路に対する正しい認識と期待を持つよう支援する。